

学会賞の選考結果について

証券経済学会賞選考委員会

1. 応募状況

応募数 1点（著書1点）

2. 選考結果

最優秀賞 鈴木健嗣『日本のエクイティ・ファイナンス』中央経済社、2017年8月刊

3. 講評

選考にあたって、従来の通り、以下の評価基準で審査を行った。

- ・ 学術書としての要件を満たしているか
- ・ 研究内容にオリジナリティがあるか
- ・ 問題意識、分析枠組みが明確で、著書としての完成度が高いか
- ・ 先行研究を十分に消化しているか
- ・ 証券経済学会のテーマとして相応しいか

今回の応募作は、以上のすべての点について、高い水準に達しており、選考委員会では最優秀賞に値するものであると、一致した見解に達した。

日本においてエクイティ・ファイナンスの利用がどのように進むのかが、調達企業および市場にとって重要な課題となっていることは広く認識されているが、当該分野を包括的に扱った研究書は、残念ながら乏しい状況であった。この中で、今回の応募作は、内外の理論的・実証的研究を踏まえながら、1950年代以降のわが国のエクイティ・ファイナンスの進展を歴史的に振り返り、さらに公募増資アナウンス日の株価反応、公募増資のディスカウント率、転換社債のケース、エクイティ・ファイナンスのタイミング、IPO、株式分割、自社株買いなどにおいては豊富な事例研究をもとに、多角的な面から日本のエクイティ・ファイナンスの特徴と問題点を明らかにしている。各テーマにおける実証でも統計処理は的確であり、このような成果はまさに類書がなく、エクイティ・ファイナンス研究の日本における到達点を示すものといえる。

証券経済学会賞が創設されてから今回初めて最優秀賞授与となるが、本作にはそれに相応しい価値があるものと認めるものである。

以 上